



地球ははるか彼方です。作業は「深淵宇宙活動」と呼ばれ、大きなリスクを伴う仕事でした。

アポロ計画はその科学探査に大きな期待が寄せられたものの、予算がつかず、17 号でもって計画が打ち切られました。

以後 1972 年から 2008 年にいたる 40 年に近い歳月、月探査は放置されてしまいました。その 40 年の歳月を埋めたのが「かぐや」でした。

その 40 年近い歳月の間にコンピュータ技術は格段に向上しました。

カメラを含め、各種の計測機器もコンピュータと連動することで大幅に精度が向上しました。

写真の通り、「かぐや」はアポロに較べて本体部分は半分ほどの大きさですが、組み込まれていた計測機器の数にしろ精度にしろ、アポロ計画のそれをはるかに上回りました。

「かぐや」がもたらした成果は、アポロ計画以来停滞していた月の研究を飛躍的に発展させたのです。

